

## 練馬区の認知症対策の現状と取組について

## 1 現状

## (1) 高齢者人口と要介護認定者

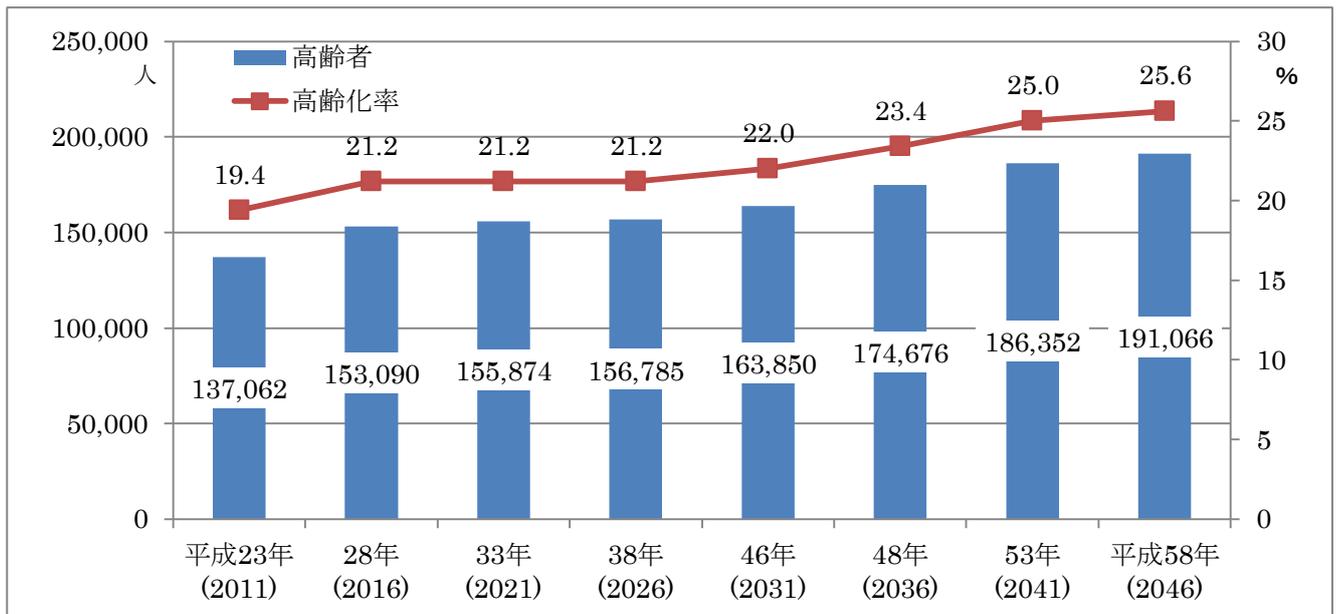
練馬区の高齢者人口（65歳以上）は、平成23年の約13万7千人から団塊の世代が後期高齢者となる平成38年には約15万7千人に、平成53年には約18万6千人になり、4人に1人が高齢者になると推計しています。

高齢者人口の増加に伴い、要介護認定者の増加も見込まれます。練馬区の要介護(支援)認定者数は、平成23年の23,489人から平成28年までの5年間に約2,800人増え、その後も高齢化率の上昇に伴って増加していくと推計しています。

○平成25年4月現在

人口：709,609人 高齢者人口（65歳以上）：145,360人 高齢化率：20.48%  
要介護認定者数：27,498人

練馬区の高齢者人口・高齢化率将来推計



「練馬区地域医療計画」(平成25年3月)

## (2) 認知症高齢者の数

練馬区では、第5期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成24～26年度)において、何らかの認知症の症状がある高齢者(認知症自立度Ⅰ以上)は、要介護認定者の約75%、見守り等の支援が必要な認知症の高齢者(認知症自立度Ⅱ以上)は、要介護認定者の約50%と推計しています。

また、国では、何らかの支援が必要な認知症高齢者は、現時点で300万人を超え、平成37年には470万人に達すると予測しています。東京都においても、何らかの支援が必要な認知症高齢者は、23万人を超えており、平成37年には約38万人に達する見込みとされています。

○認知症高齢者の推計（平成 25 年 4 月現在推計）

練馬区 要介護認定者 27,498 人

認知症高齢者 約 20,600 人(支援が必要な認知症高齢者約 13,700 人内数)

(3) 若年性認知症の人の推計

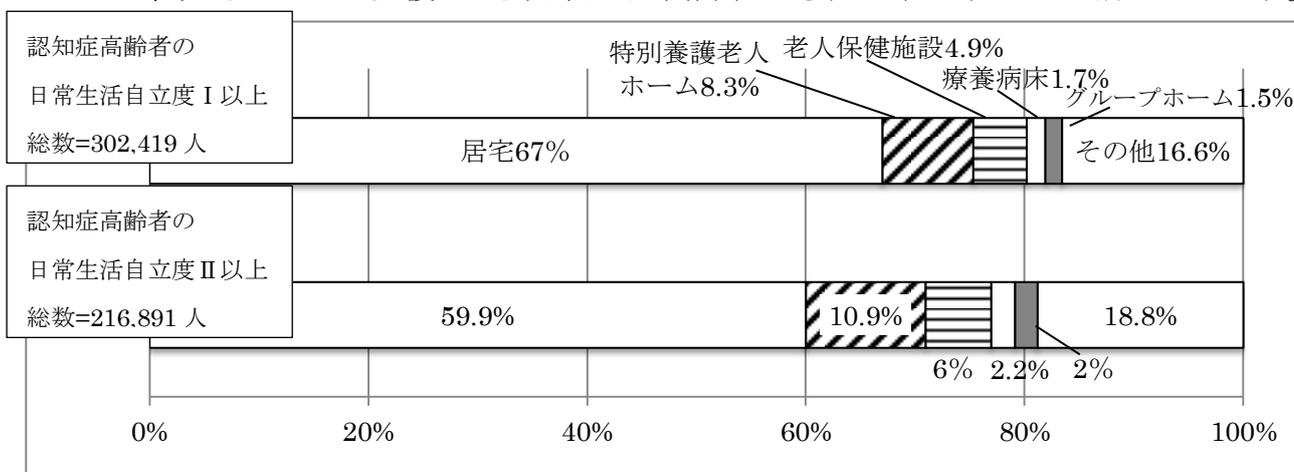
厚生労働省調査発表（平成 21 年 3 月）によると、若年性認知症の有病率は、18 歳～64 歳の人口 10 万人あたり 47.6 人と推計されています。

平成 25 年 4 月現在、練馬区では約 220 人と推計されます。

(4) 認知症高齢者はどこで生活しているか

東京都の調査によると、認知症高齢者の約 7 割が在宅(居宅)で生活しています。

また、見守りまたは支援の必要な認知症高齢者でも約 6 割が在宅で生活しています。



東京都福祉保健局高齢社会対策部「要介護者数・認知症高齢者数等の分布調査」(平成 23 年 1 月)

(5) 練馬区の認知症医療と支援

認知症に関する知識を習得し、日頃から認知症を診療できる医療機関として「練馬区医師会もの忘れ相談医」が 120 か所、認知症サポート医が 23 人となっています。(平成 25 年 5 月現在)

また、東京都認知症介護指導者 3 人、介護家族の会 12 団体、サポーター養成講座講師を務めるキャラバン・メイト登録者が 97 人、認知症サポーター 9,285 人が、地域での介護や相談、見守りなどにより認知症の人を支えています。(平成 25 年 4 月現在)

練馬区医師会もの忘れ相談医：医師会名簿掲載医療機関 (認知症対応力向上研修修了医師)	120 か所 (125 人)
認知症サポート医 (サポート医養成研修修了医師)	23 人
東京都認知症介護指導者 (東京都認知症介護指導者研修修了者)	3 人
キャラバン・メイト：サポーター養成講座講師	97 人
介護家族の会	12 団体
認知症サポーター	9,285 人

(平成 25 年 4 月 1 日現在)

## 2 練馬区の主な認知症対策 (平成 24 年度実績)

### (1) 早期発見・早期対応の推進

#### ① 啓発

認知症専門医等による講演会を開催し、早期発見・早期治療の重要性等について知識の普及を図っています。

事業名	実績
医師による認知症講演会	8回 349人

#### ② 早期発見のための機会提供

身近な高齢者相談センターを窓口として相談できる仕組みを整えるとともに、認知機能測定器の設置等により、認知症についての啓発や早期発見・早期対応の推進を図っています。

事業名	実績
高齢者相談センター相談	相談件数 延 138,467 件
もの忘れチェック機器(タッチパネル)	4台導入 518人利用 ※平成 24 年 5 月導入

### (2) 適切な支援につながるための相談体制の充実

#### ① 介護関係者と医師・認知症専門医療機関の連携

介護と医療の連携に向けた基盤づくりに取り組み、関係機関との連絡会を開催しています。

事業名	実績
区・医師会連絡会	開催 3回
認知症疾患医療・介護連携協議会	開催 2回

#### ② 高齢者相談センターにおける認知症に関する相談体制の強化

高齢者相談センターでは、介護と医療の連携によるサービス提供を行うため、認知症専門医による相談を実施しています。

また、高齢者相談センター職員の知識・技術の向上ならびに、高齢者が安心して暮らせる地域づくりのための研修や関係者による事例検討会を開催しています。

事業名	実績
医師による認知症専門相談	24回(4か所×6回) 61件
高齢者相談センター支所職員研修	2回
ミニ地域ケア会議	92回 延 3,057人

### (3) 在宅生活支援の充実

#### ① 介護家族支援の充実

介護家族の精神的負担の軽減に役立てるため、介護家族支援の必要性の周知と、既存のボランティアに対する知識・技術の向上につながる研修(フォローアップ研修)等

を通じてスキルアップを図っています。

また、気軽に介護の悩みを話すことができる電話相談や高齢者緊急ショートステイの運営等、介護家族支援の充実を図っています。

事業名	実績	
介護家族支援講演会	4回	86人
介護家族パートナー・フォローアップ講座	3回	42人
支援者ネットワーク連絡会	3回	42人
家族介護者教室	113回(29か所)	1,161人
認知症介護家族による介護なんでも電話相談	50回	116件
高齢者緊急ショートステイ(2床)	利用者 44人	延 308日
高齢者緊急医療ショートステイ(2床)	利用者 25人	延 256日

## ② 認知症の人の権利擁護

認知症の症状がある人の権利が適切に擁護される支援が求められており、成年後見制度等の周知や利用促進のための説明会や相談会を開催しています。

また、弁護士や司法書士等の専門家の支援に加え「社会貢献型後見人」の必要性が高まっており養成研修の充実や、後見業務を受任しやすい仕組みづくりに取り組んでいます。

事業名	実績	
地域団体が実施する講演・勉強会等への講師派遣	22回	
成年後見制度に関する相談会	5回	
生活保護受給者等への後見人報酬助成	1件	
社会貢献型後見人の養成研修	19回	4人
社会貢献型後見人による後見業務の受任	延 9件	
社会貢献型後見人への後見監督業務	延 9件	

## ③ 介護保険サービスの質の向上

介護サービスにおける認知症ケアの拠点として、地域密着型サービス事業所を、日常生活圏域ごとに適切に整備します。

また事業所における認知症ケアの質の向上を図るための指導や研修の機会を提供しています。

事業名	実績	
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の整備	2施設	44人 ※平成25年度開設予定
認知症対応型通所介護(認知症対応型デイサービスの整備)	1施設	24人 ※平成25年度6月開設
介護サービス事業者への指導	148件	
介護人材育成研修	126回	延 3,039人

## ④ 認知症の人への適切な支援のあり方の研究

介護・医療等のサービス提供者が、認知症の症状の発見から、治療、居宅サービス

の利用、施設入所までの、継続的かつ包括的な支援に必要な仕組み(認知症ケアパス)や、認知症の人の標準的な支援のあり方(認知症ケアモデル)を研究しています。

事業名	実績
認知症ケアパスに関する講演会	1回 72人

⑤ 若年性認知症の人への支援

若年性認知症の人を支援している事業者や若年性認知症介護家族会への調査を行い必要な支援を検討しています。

事業名	実績
若年性認知症支援	介護サービス事業所、高齢者相談センターへアンケート調査を実施

(4) 地域における支え合いの強化

① 認知症サポーターの養成と活用

認知症についての知識を広め、認知症の方や家族を支援するサポーターの養成等、地域づくりを進めています。

事業名	実績
認知症サポーター養成講座	51回 1,330人 累計 9,285人
認知症サポーターフォローアップ講座	2回 115人
キャラバン・メイト連絡会	1回 29人

② 徘徊高齢者の見守りの推進

認知症による徘徊高齢者を地域住民や関係機関等が地域ぐるみで見守る取組みを実施しています。

また、位置情報専用端末機を貸し出し、徘徊により行方不明になった場合の早期発見と安全の確保および介護者の負担軽減を図っています。

事業名	実績
徘徊対策ネットワーク事業	協力者 728人
G P S利用料助成	368人

③ 高齢者見守り訪問

区に登録を行った高齢者見守り訪問員(ボランティア)が、利用を希望する一人暮らし高齢者に週1回程度訪問・声かけ等を行い安否を確認しています。

事業名	実績
高齢者見守り訪問	利用者数 412人 訪問員数 226人